

- 1 日 時 : H29 年 12 月 6 日 (水) 16:00~18:00
- 2 場 所 : 校長室
- 3 参加者 : 学校協議会委員(敬称略) :
- 委員長 米津 俊司 (大阪教育大学教授)
- 委 員 本村 康哲 (関西大学教授)
- 柏原 泰和 (本校同窓会会長)
- 小林 紀子 (本校 P T A 会長)
- (欠席) 樽井 弘三 (高槻市立第八中学校校長)
- (欠席) 高井 伊知子 (高槻市立奥坂小学校校長)

本 校 : 奥谷校長、赤岸事務長、小川教頭、安田首席、相澤首席
浦久保 (総合調整部長)、高木 (記録)

◆ 議事録

1 16:00~16:30 は校内施設 (情報関係) 見学

時間 : 16:00~16:15

場所 : 3 階学習室

内容 : 国語乙の授業における電子黒板の活用例

担当 : 吉見 晃

時間 : 16:15~16:30

場所 : LAN 教室

内容 : 「情報」の授業紹介

担当 : 本村 眞章

2 開会挨拶 (校長)

- ・ 本日の議題 第 1 回学校評価・授業評価の報告。
- ・ 修学旅行終了報告。

3 委員長挨拶 (米津先生)

- ・ 学期末を迎え、また進学指導も山場を迎える時期で、現場は大変だと思われるが、子どもたちの進路実現のために頑張ってもらいたい。
- ・ 第一回欠席されていた本村先生よりご挨拶。
- ・ 会長、同窓会会長よりご挨拶。

4 本校の現状と課題

○ ホームページについて（校長より説明）

- ・ 学校の魅力を伝える方法として、ホームページが有効だと考える。
- ・ 本校を知ってもらう入口として、ホームページのさらなる活用を進めている。
その取組みの一つとして、校長ブログ（校長が学校の行事や出来事などをブログで発信）をしている。
- ・ 校長ブログの紹介。部活動の様子や実績、行事の様子など、様々な情報を発信している。

（米津）よい取組みだと思う。校長ブログの1年間の記事をまとめて冊子にしたらどうだろうか。

（教頭）（HPを通じて）北高をよく知ってもらうことで、近隣からの自転車マナーへのご意見なども減ってくれれば。

○ 第1回学校評価・授業評価のまとめ（首席 安田より報告）

◆学力・進学保障

（1）生徒のモチベーションについて

- ・ 図書館の利用。今年は15%増の目標を掲げており、結果は第2回以降で集計する。
目標達成のために、図書便りを昨年に比べて多く発行している。

（2）教科教育力の向上のためのシステム構築 について

- ・ 平日の学習時間は、1年は昨年度より10分増え、2年3年はほぼ同じ。

◆学校生活

（1）遅刻・制服・自転車・自主活動指導

- ・ 遅刻は生徒指導部の「身だしなみ・マナー向上週間」指導もあり、820件から631件に減。
- ・ 携帯（スマホ）使用は、昼休みと放課後のみに使用を制限している。また、1日の平均使用時間は161.7分と、昨年度より8.7分増加。
- ・ 部活の加入率は84.8%で例年通り。第1回評価で、「部活の時間が多い」という意見があり、それを受けて夏休み以降「完全下校時刻」を設定し指導をしている。
- ・ 学校生活全般は、85.6%の生徒が「満足している」と答えている。

（2）清掃・環境・挨拶

- ・ 防災避難訓練を生徒に予告せずにやったが、避難完了までの時刻は例年と変わらなかった。臨場感があり、よい取組みだったと思う。

◆学校運営

- ・ 教師力の向上について、11月20日に若手教員が集まってアクティブラーニングに関する勉強会を行った。

◆広報

- ・ 例年通り今度の12月9日に学校説明会があり、現時点で400人超の申込みがある。
- ・ アドミッションポリシーの生徒への周知が予想より低かった。90%と見込んだが55%だった。

◆授業評価について

- ・ 実技教科と比べると、座学教科は少し平均点が低くなる。

(校長) (部活動も含めた) 完全下校時刻は、夏季は 19 時、冬季は 18 時半 (付き添いのない場合は通年 18 時) としている。完全下校時刻には必ず門をでるようにと、顧問が指導・協力してくれている。

(部活動の時間を区切ることで、先述の) 学習時間にもよい影響が出ているのではないかと考える。

(教頭) 学校説明会の参加人数は、一昨年前までは視聴覚室 (200 人収容) で足りていた。

昨年は 300 人を超え、今年は 400 人を超えたので、体育館で行う。今年度募集は倍率も上がった。

来年度の募集人数は 360 人。1 クラス減で、9 クラスになる。

○ 質疑応答

米津 学校説明会の申し込み方法と項目は？

浦久保 方法： 1 HP から申し込みフォームに入力する

2 FAX・電話での申し込み

項目： 中学校名、名前、保護者名、性別、連絡先、保護者の参加不参加

米津 連絡先を尋ねる理由は？

浦久保 坂の上にあるので、自転車で来る生徒が多い。(事故等) 何かあったときに連絡ができるように。

米津 (この時期の) 学校説明会に 400 人超えはすごい。

教頭 (小学校に) 実習に来ていた教志コース生に出会ったという小学生が、そろそろ高校に進学してくる年齢になる。また、中学校への実地実習も第七中学以外には行かせてもらっており、教志コース生を見て北高生に憧れを持ったという中学生もいるときく。

米津 管理職と担当の先生だけで説明会を行っていた学校が (志願数の減少に伴い) 危機感を持ち、教職員全員が説明会に関わり、「先生の姿を保護者に見てもらおう」という取り組みをした学校があった。

すると希望者がぐっと増えた。部活の顧問がどんな先生かなど、志願者にもよく伝わったから。

米津 卒業生として同窓会会長は (広報活動について) どういう形がよいと？

柏原 まずブログだが、校長が保護者と話す機会はあまりない。校長ブログという手段なら、学校が子どもたちに何を求めているか、など様々なことを伝えることができるのがよい。

本来は、子ども達自身がどの高校へ行きたいかを選ぶべきだが、実際は親の意見が強く反映される形になっている。子どもの自主性を高めることも大事だが、(広報活動としては) 保護者への発信も有用だろう。いずれにせよ、志願者が増えたことは、卒業生としてうれしい。

教頭 第 2 回説明会は授業見学もあり、教志コース生が受付、校内の案内、スピーチ、駐輪場整理なども行っている。実地実習も終わった直後なので、喋り方も慣れているし、実習の経験も話してくれる。

小林 ロコミの影響は実際すごい。中学 3 年生の親である知人によると (どこから発信された噂かは分からないが) 「北高はいい学校だから行きたいけど、だんだん難度が上がってきているから」という噂が飛び交っているらしい。

本村 学校の印象がよくなってきているようなので、楽しみ。

一つ気になったこと、スマホのこと。使い方研修や指導してもなかなか使用時間が減らないようだが、生徒は何に使っているのだろうか。

教頭 (研修に関しては) スマホの利用で被害者にならないように、という講習を入学式でやっている。

学校では使用時間帯を決めている。指導案件には電源を切り忘れて授業中に着信音が鳴るなどがある。

(危機対応のために) 緊急連絡は受信できるように授業中でもサイレントモードにしておいてよいと規則を変えたので、設定忘れなどもあると思う。

本村 (スマホの使用には) 調べ物をする、という使い方もある。今の子どもたちはテレビのニュースを見ず新聞も読まないが、(その分スマホから情報を得るために) 「使用時間」は増えるのではないだろうか。

だから、使用時間が増えることがネガティブとばかりもいえないのではないか。
学習に使う、(電子書籍をスマホで) 読書をするという使い方をしているかもしれない。
使用時間にこだわるよりも使い方が大事ではないか。

柏原 (家庭では) 使う時間帯(深夜帯など?) も意識、把握しておくべきと思う。
そういったことを校長ブログなどで発信し、保護者にも問題意識をもっていただくのがよいのでは。
米津 小中学生の問題として、今は「家がホテル化している」というものがある。
つまり同じ家に暮らす家族でも、ご飯を食べる時間が一人ひとり違う、テレビは各部屋にある(お茶の間の家族団らんがない)、子どもは夜も塾へ行って家にいないことが多いなど家族としてのコミュニケーションをとる時間がなくなっている。それが子どもの成長に問題を与えているという話だ。
さらに高校生は、(SNS上などで) 見えないところで知らずに問題に巻き込まれている、ということがある。それでも「ヘルプ」を学校には言わない。だから問題を問題と認識するように啓蒙が必要。
進路希望を達成した生徒は 83.6%とあるが、これは大学へ行けたということですか?

教頭 そうです。自分の志望する大学へ行った、という意味ではない。
米津 頭髪のこと、報道されているあれ(地毛を黒染めさせた) はやりすぎだと思う。本校ではどうですか。
教頭 本校でも頭髪指導はしている。地毛登録している生徒は対象としていない。色が薄くなってきたなど変化があれば指導します。
中には夏休みに髪を染めて休み明けに黒染めして戻す生徒もいます。

柏原 髪形を指定している学校もある。
教頭 黒に染めてこいというのはよくないと考えています(全員同意)。

教頭 学校評価・授業評価アンケート第2回は12月12日に行う。
安田 内容は昨年とほとんど変えていない。例年通り。
部活動について、前回は満足度85%。残り15%は満足していないので、項目を入れた。
不満を持っている子たちの思いを、他の項目とクロスさせながらみていきたいと思っている。
教頭 例えば、クラブに入っている生徒のほうが勉強している場合もある。もちろん逆もある。
それを見たいと思う。この結果を第3回協議会で示したい。

教頭 来年度の教科書選定について協議会に報告いたします(資料には副読本は入っていません)。
校長 社会の教科書について、この教科書ならこの資料についての説明を細かく求められることがある。いつどの学年で何時間やっているか、など。

柏原 高槻の学校で遊具が統一された。それで高い鉄棒が(危険だから?) 撤去されたりもした。子どもたちがますますダメになるのではと心配。子どもがチャレンジしない方向になってきている。何かをすれば怪我もするかもしれないが、チャレンジする機会を減らないようにしないと、子どもが育たないのではないか。地域の住民が声を出さなければいけない。マスコミに訴えなければならぬ。
(子どもに何かをチャレンジさせるために) 幼稚園から取り組むべきことが、高校の視点から見てあると思う。学校も声をあげてほしい。

米津 アドミッションポリシーについて。
生徒会の活動が活発であれば、執行部(生徒)に先生と意見交換をしながら北高の目指すものを考えさせる、などすれば浸透するのではないか。
関大で学園祭の頃に授業で「なぜこの時期に学園祭があるか知っているか」と関大生に聞いたら、誰も

答えられなかった。学校の理念や歴史を知ってほしい。学校紹介の 17 分間のビデオを見たらわかることだ。自分の通っている学校について知ることはよいことだ。応援歌を歌わせたこともある。

安田 (アドミッションポリシーの浸透について) 生徒が生徒に伝えるのは大きいかもしれない。
米津 先生が一生懸命やってくれているし、勉強の環境も整っているし、あとは自分たち(生徒自身)がもっと勉強しないといけない、と思うようになってくれれば。

柏原 (生徒が生徒に伝えるという例で) ある小学校では、過去の風評被害の影響が今でもあるのだが、5年くらい前から変わってきた。(生徒が扮する) 戦隊タダスンジャー(正すんじゃ)というヒーローが4色の服を着てみんなの前にでて啓蒙活動をしている。10年前は卒業式でも後ろを振り返ったり腰パンという服装の生徒もいたが、今はなくなった。

教頭 生徒たちがもっとたくさん(生徒会執行部に)立候補してくれたらいいのだが、候補者が少なく選挙にならない。生徒会長も信任投票で決まってしまう。
部活をやっている子が生徒会をしたい、と言ってくれたら一番いいのだが。

米津 案として、学校評価で各項目に「全く当てはまらない」を選んだ生徒に対して、「なぜか」を問い、書く(自由記述)欄を設けたらどうか。そういった子どもたちの声を受け止める必要がある。

教頭 無記名のため、誰が書いているか分からない。ただ、中には面倒だから全て「当てはまらない」を選択するような生徒もいるので。

安田 第1回アンケートと同じ時に「安全安心アンケート」というものもやっている。

校長 本日も大変貴重なご意見、ご提案をありがとうございました。

高槻の高校で30年ずっとやってきたが、北高は他校よりも地域とのつながりが強いと感じる。

本日は最初にプロジェクターを見てもらったが、小中で使っているのに高校がない、と訴えて実現した。

12年間で子供を育てる(「学びの継続」)、ということもこれからも考えていきたい。

また、携帯電話は使い方を指導するようにしていきたい。

アドミッションポリシーを周知して、本校の愛校心を育てていくことをしていきたい。

校長ブログもやっていきます。

ありがとうございました。